

全国駅弁博覧会

～お弁当当箱全国版～

第62号:2016年4月

★「おにぎり文庫LINE」★NPO法人「おにぎり文庫の種」パンフ★オリジナルシール

など、過去の「全国駅弁博覧会」でご紹介しているいろいろなものがございます。「それなに？」とおもわれたら、上記大野メールアドレスまでお気軽にお問い合わせください。

「おにぎり文庫」全国事務局改め

NPO法人「おにぎり文庫の種」

108-0074 港区高輪 4-10-18 京急第1ビル 13F

GC&T 内 大野 直子

ono.na@kumon.co.jp

熊本地震の被災地の皆さんへ…

熊本おにぎり文庫の皆様は、いつもとても熱心にご活動して頂いています。地震の被害などで大変だと思いますが、くれぐれもお気を付けください。

つちやあさたろうです。大きな地震でした。緊急地震速報がひっきりなしに鳴って、揺れていない私たちさえ気が休まらず眠れない思いなのです。現地の方たちのご心痛はいかばかりか… 居ても立っても居られない、忍者になって絵本を持ってすぐにでも飛んでいきたい気持ちです。でも、これを書いている現在はとてもそんな状況にはないようです。

おにぎり文庫を始めてみて、改めて気付かされるのは、「絵本の力」の大きさ、広さ、深さです。読み聞かせてもらうと、時代を越え、年代を越え、空間を越え、言葉は心の奥に直接響いてきます。絵本は子どものもの、と思って周囲で静観している大人たちが、少しずつ夢中になっていき、場の雰囲気の変化していくことがよくあります。まさに「言霊」だと実感します。心が疲れている時の絵本には、癒しの力があると思いませんか？

「読書は心のごはん」という“ごはん”には、“食事”や“栄養”とは違う、もっと自然なものとという気持ちが入っています。子どもたちに「ごはんよ～！」と声をかけるとき、時にはごちそう時には手を抜き…でも毎日あたり前に食べるもの。香りや味と共に、家族や友人と話したり笑ったりしながら楽しむもの。そんな気分が「ごはん」です。

震災のようなことが起きると、毎日の当たり前の「ごはん」が食べられなくなります。せめて心のごはん、食べさせてあげたいなあ。

「ねぎぼうずのあさたろう劇団 & 忍者読み聞かせ隊」公演

@上野の森親子フェスタ イベントテントAにて

2016年5月3日(火) 11時～11時45分

昨年は中止となりました上野の森おやこフェスタですが、今年はフェスタ自体の開催も決まりました。1年ぶりの「ねぎぼうずのあさたろう劇団」公演を行います

今年は、忍者読み聞かせ隊も一緒に、平田昌広さんの『へえこいたのだれだ?』(くもん出版)も読みます!子どもたちにも大人気のこの本、掛け合いで読む楽しさをぜひ味わってください。

そして、おなじみ!ねぎぼうずのあさたろうも「一番盛り上がる3つの巻」(ねぎぼうずのあさたろう劇団広報談 [ってだれ?by あさたろう])を読みます!ぜひご期待ください。

また、毎回全国あちこちのおにぎり文庫の皆様もお越しになる機会でもあります。劇団公演後に上野の森の緑を見ながら、プチ「おにぎり文庫サミット」も実施できるといいな…と思っています。全国の「おにぎり文庫」の皆様は、ぜひ公演後、あさたろう劇団メンバーにお声をかけてください!

前の晩は“てるてるぼうず”をよろしく願いいたします。



2010年にはNHKニュースに登場したことも!